

シルバー流山



第272号 令和7年2月15日

公益社団法人 流山市シルバー人材センター
〒270-0114 流山市東初石 3-103-18
URL : <http://www.sjc.ne.jp/nagareyama/>

TEL 04-7155-3669

FAX 04-7154-1839

E-mail : nagareyama@sjc.ne.jp

2

職場訪問：運転業務（植栽・除草）の現場レポート



運転手の大橋会員

私は植栽グループに所属し、剪定の仕事を始めて4年目、少し慣れてきた頃である。日頃脚立や剪定枝などを運んでくれる運転手の大橋会員にお願いして、11月19日（火）一日同乗させてもらった。

運転手の朝は早い。7時前からセンターの駐車場で準備作業に入る。事務所が開くと、「運搬依頼書」で前日の申し送り事項などを確認。エコセンターの受付時間を考慮して段取りを行い、仮払金を受け取って出発準備完了。

仕事は大きく分けて2つ、「搬入」と「回収」。「搬入」は、剪定や除草に使う脚立・カラー（剪定枝を入れる袋）などを現場に運搬するのと、現場から回収した剪定枝・雑草をエコセン

ターに搬入すること。「回収」は、現場で発生する剪定枝・雑草を回収するのと、現場の作業終了後に脚立などを回収すること。

まずは最初の「搬入」。現場に脚立などを運搬し、要求通りに置いていく。渋滞や狭い道のところもあり、ルートを選択など経験が必要と感じた。脚立搬入の次は、前日未回収の剪定枝などを回収し、エコセンターに搬入し指定置場に排出。これらの剪定枝などはリサイクルに回され、堆肥やチップに生まれ変わる。その後、午前中に作業が終わった現場から、本日分の剪定枝を回収。



脚立・カラーを搬入



剪定枝などを回収

午後は、エコセンターの午後の開始時間に合わせ、午前中回収した剪定枝などを搬入。枝がからんでカラーから出しにくいものもあるが、黙々と降ろしていく。この日は計4回往復し、荷台も山盛りになる場合も。回収のルートや時間の段取りが難しいと感じたが、これも慣れたもので難くこなしていく。

剪定枝などの回収が終わると、最後に脚立などの回収。回収した脚立は、山積み状態。しかしロープワークで崩れることは無い。慣れたものだ。以上で本日の搬入、回収作業は無事終了し、16時頃事務所に帰還した。

大橋会員に「一人作業で大変そうだが」と聞いてみたところ、「一人作業だが、やり方を自分なりに工夫して、自分の思うようにやれるので良い点もある」との回答だった。やりがいのある仕事として前向きな姿勢にプロ意識を感じた。「掲載写真は一連の運転業務現場写真を参考追加しています」（高橋 眞・記）



剪定作業の現場



剪定枝を入れたカラー



剪定枝をエコセンターで搬出



脚立などを回収

シルバーライフで 豊かな人生を！

活動報告

『令和6年度 第10回理事会』 1月14日(火)

【報告事項】

- ① 令和6年11月運営状況：会員数は697名（男性513名・女性184名）で前年比16名減（男性21名減・女性5名増）。就業率は4月からの通算で79.8%、前年比1.3%増（11月単月の派遣会員22名を含めた就業率は73.7%で前年比3.7%増）
- ② 契約金額実績（速報値）：11月分3,272万円、前年比12万円減、4～11月累計25,090万円、前年比204万円減
- ③ 理事会・女性委員会等で集められた総額35,294円を能登半島地震災害義援金として能登町へ寄付

【協議事項】

- ① 12月の新入会員8名（男性4名、女性4名）の承認
- ② 令和7年度予定表：理事会・部会・委員会の日程を決定
- ③ 次期中長期計画：令和7年度からの新たな計画を策定（計画期間は3年間）
- ④ 配分金の改定：最低賃金の引き上げ率を参考に令和7年度配分金単価を決定
- ⑤ 見習い就業に対する配分金の扱い：仕事の引継ぎなど見習い期間の対価を諸謝金または配分金で対応するよう明確化
- ⑥ 賛助会費対応：収入確保の一環として賛助会員の獲得を目指すため具体的な方法を今後定める

『総務部会』 1月6日(月)

- ① 広報委員会、女性委員会からの活動報告
- ② 1月理事会への報告事項・協議事項の確認と策定された次期中長期計画の事前説明
- ③ 当年度就業アンケートの「職場の問題点」コメントに対する概略分析を共有
- ④ 賛助会員入会促進に向けた対策を協議

【適正巡回】 1月17日(金)

- ① 就業アンケートで指摘が多かった植栽グループの現状課題を植栽職群長にヒアリング
- ② 植栽グループは、現状10班41名が4地区割体制で作業している。高齢化や植栽グループに新規参加を希望する会員が少なく、受注に対して作業開始が数か月待ちの状況
- ③ 暑さ対策の扇風機付作業着や装着道具の購入に対して補助金制度の活用を推進中

『広報委員会』 1月6日(月)

- ① 4月号からの会報カラー化に伴う広報委員会開催日（第1金曜日）の見直し
- ② ホームページ掲載写真は、トップページのバナー写真変更を先行して推進中

『女性委員会』 1月23日(木)

女性委員会のシルバークフェスタへの協力体制を検討

【女性会員のつどい】 1月22日(水)

市保健センターで同所栄養士を講師に迎え、「腸活のすすめ」をテーマに料理講習会を開催。一般市民6名を含む31名が参加。終了後、参加者のうち23名（一般市民4名）により「おしゃべり会」を開催。参加者から喜びの声が多数あり、定期開催する方向で話が弾んだ。

『地域部会』 1月15日(水)

- ① 地区長を補佐する広報・安全・ボランティア担当を置く案件は更に議論が必要
- ② 「地区ごとの会員アンケート実施」に関する提案があった（会員情報取得やコミュニケーション不足解消のため）

『植栽グループ長会議』 1月17日(金)

- ① 各グループ長からの現況報告
- ② 高所作業について確認
- ③ 地区割の現状と変更を協議
- ④ 新たな契約方式の対応を協議

『除草班長会議』 1月23日(木)

- ① 作業員の減少及び高齢化による除草班の現状と課題
- ② 班編成
- ③刈払機講習会の日程を協議

「事故は必然。」 不断の意識が 抑止力

友の会だより

「流山シルバー友の会」は、人材センター会員とOBの「いきがいくくり」を応援する組織です

行事のご紹介 (歌声広場・ウォーク・バスハイク)

歌声広場 2月23日(日)、4月22日(火) 13:00～ 森の倶楽部
ウォーク 3月28日(金) 理科大ウォーク&レストランランチ
バスハイク 5月29日(木) 横浜異国情緒を訪ねるデートコース (港の見える丘・外人墓地・山下公園・中華街 他)



友の会HP

愛好会活動のご紹介

我々シルバー世代では、新たに友だちを増やす機会が少なくなりましたが、趣味や興味、特技を活かした「この指とまれ」の愛好会活動を紹介します。昨年1月から友の会の会員を中心に立ち上げた親睦・交流会で、入会金や年会費などはありません。参加費100円を集めますが、これを原資に年2回の成績表彰を行います。見学会やオープン参加も自由です。一度覗いてみませんか？ 大歓迎します！ ※ 興味のある方は、羽田野(はだの)までご連絡をお願いします Tel: 090-6791-8039

<麻雀愛好会> 森の倶楽部で月10回開催(12:00～16:00)、現状会員は35名(女性8名)、完全先付けの健康麻雀を楽しむ会です。開催日は施設予約の結果に左右され固定日開催ではありません。全自動卓は使いませんので、指を使った脳活になります。猛暑の夏や極寒の冬も快適な場所で麻雀を楽しみませんか？



<ボウリング愛好会> 昭和世代の皆さんには、一度は経験があり懐かしいボウリングを楽しむ愛好会です。

毎月第3日曜日午前中、十余二のマルハン(ボウルアピア柏中央)での月例会開催を中心に活動しています。現状会員は22名です。月例会は、年齢、性別、国籍不問のオープン参加を募っており、1月の月例会はフランスの方がオープン参加されました。

同好会名	開催日①	開催日②	開催場所	開始時刻	連絡先(入会等)
ゴルフ	3/27(木)	4/17(木)	野田市PG場(ひばり)	08:30(スタート)	鈴木 080-3461-6820
パソコン	2/18(火)	3/18(火)	コミュニティプラザ	14:00～	横田 080-6117-4426
写真	2/25(火)	3/25(火)	コミュニティプラザ	14:00～	小島 04-7154-9377

シルボンヌ全国大会に参加して

11月19日(火)

シルボンヌとは、シルバー人材センターで働く女性会員の愛称で、シルバーとフランス語で「女性のお手伝い」「親切」「優れた」という意味の造語。

第1部は、TRFのSAM氏の講演。ジェロントロジー(加齢に関する学問)を学び、フレイル予防に効果があり安全な高齢者向けの「ダレデモダンス」という楽しいダンスを参加者全員で踊り「自分の体は自分で動かす」「筋肉は何歳になっても使えば使うほど強くなる」という言葉が胸に残りました。

第2部は、佐野市・加須市・秩父市の事例発表。佐野市シルバー人材センターより、会員以外の市民を巻き込んでの「シルバーブギウギ喫茶」や、佐野市にある短期大学の協力を得ておこなった「クッキング教室」など、学ぶことの多い発表がありました。

フィナーレは、草加市シルバー人材センター会員のよさこい踊りで締め、楽しい大会となりました。

**県シ連『女性役員意見交換会』参加報告 12月9**

千葉市で開催され、14市町村から24名が参加。

全国的にシルバーの女性会員は減少傾向にあり、対応策の一つとして千葉県で取り組んでいるロコミ応援ツール「豆パン(小型パンフレット)」を検討してはどうかという提案がありました。

豆パンは手のひらサイズの冊子で内容も分かり易いという利点があり、現在、千葉市・市原市で活用しており、今後も使用していきたいとのこと。当センターの今後の検討課題だと感じました。

他の活動では、「シルバーサロン」「小物作り販売」「健康教室」「市などで開催するイベントに参加してアピールをする」などの事例が紹介されました。

当センターからは、11月に行われた南流山フェスタでの小物販売売上金を、流山市の姉妹都市である能登町に寄付したことを伝えました。(県シ連:「千葉県シルバー人材センター連合会」の略称)

止めたはず、閉めたはず、誰もが陥る “はずはず病”

事務局だより

Tel 04-7155-3669

Fax 04-7154-1839

会員数：令和7年1月31日現在

計	711	男性	519	女性	192
---	-----	----	-----	----	-----

日	曜	2月の予定
16	日	
17	月	館長等会議
18	火	接遇研修
19	水	
20	木	配分金支払日
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	シルバーフェスタ実行委員会（シルバー）
26	水	
27	木	植栽ボランティア（下花輪福祉会館）
28	金	

日	曜	3月の予定
1	土	
2	日	
3	月	総務部会 入会説明会（シルバー）
4	火	入会説明会（南流山センター）
5	水	
6	木	女性委員会（下花輪福祉会館）
7	金	広報委員会
8	土	
9	日	
10	月	理事会
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	適正巡回 地域部会
15	土	

◎新入会員のご紹介（敬称略）（○で囲んだ数字は地区名）

田内貴志乃 ② 大和田美由紀 ④ 菊池 孝彦 ⑤ 佐塚 吉治 ⑥ 小檜 利隆 ⑦
折尾 好子 ⑧ 小笠 駿二 ⑨ 三橋 広美 ⑨ 保科 泰昭 ⑨ 藤田 修 ⑨

◎新年の安全祈願で事故発生ゼロを！ 1月9日（木）

会長をはじめ安全委員会のメンバーが、諏訪神社に安全祈願に詣でました。今年度の事故発生件数は、これまで12件となり、昨年度と比べ2倍の件数となっています。事故発生ゼロを目指し、気持ちを新たに安全就業に取り組みましょう。＜写真左から＞ 鈴木安全委員会委員長・神田会長・多田除草職群長・福地植栽職群長



◎フリーランス法とデジタル化の推進 ～Smile to Smile の登録のお願い～

フリーランス法が昨年11月に施行され、当センターも新たな契約方法に対する準備を進めています。シルバー会員の請負業務に係る就業は、フリーランス法の適用となります。この法律の施行により、就業条件の明示等がセンターに義務付けられ、確実な事務執行を図るためデジタル化の推進が急務となっています。

そこで、当センターでは、就業条件の明示等の手段として「Smile to Smile」という会員専用ホームページの普及を進めています。パソコン又はスマートフォンの所有者に限られますが、未登録の方は、既にお知らせしているIDとパスワードによりご登録いただきますようお願いいたします。なお、不明な点は事務局までご連絡ください。

◎確定申告の時期です

松戸税務署では、2月17日（月）から3月17日（月）まで確定申告の相談・受付を行います（土曜・日曜及び祝日を除く、ただし3月2日（日）は開催）。スマートフォンをお持ちの方は、原則、スマートフォンでの申告書作成をお願いする予定です。今回も確定申告会場の混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要となります。入場整理券は、当日会場で配布するほか、LINEアプリで事前に入手することができます。

また、市内施設での相談・受付もありますので、「広報ながれやま1月21日号」でご確認ください。

◎就業情報について（詳細は事務局へ問い合わせ、または、ホームページでご確認ください）

◆清掃関係 マンション・アパート（加・おたかの森西・駒木・東深井・松ヶ丘 各1名） 境内（名都借1名） ◆育児支援 大畔小・市野谷小学童クラブ（若干名） 大畔小学童送迎（若干名） ◆調理補助（柏市介護施設1名） ◆自転車整理（初石駅2名） ◆放置自転車対策（運河駅1名） ◆その他 除草、植栽、障子・襖・網戸張替え作業 随時募集

編 集 後 記 この2月で72歳になりました。長男の自分には、既に嫁いだ娘3人がいますが、羽田野姓は自分の代でなくなります。娘達は仕事ネームに旧姓を使っており、長女は「羽」「田」「共」を組み合わせて孫に「翼」と名付けたりしています。

また墓問題ですが、先祖が眠る田舎の墓守は姉に引継ぎましたので、自分の娘達が大部分の田舎まで墓参りに行くことは避けることができます。夫婦別姓議論を待つまでもなく、自分が生きた証は苗字の継承ではなく、3人の娘と7人の孫達に残ります。大事なのは自分自身の健康問題。これらはシルバー世代の「あるある」です。

＜ 編 集 委 員 ＞
羽田野耕一・倉野美知子
高橋 眞・田中 正
小高由美子・平井 光子

（羽田野 耕一・記）

安全対策してありますか？ ひそんでいるぞ 事故の芽が